

春告草

第10号 令和2年8月5日 進路指導部発行

卒業生（5期生）から後輩へ —在卒懇で経験を伝える（第3回）

系統【E】理学・工学

京都大学工学部 都立大学都市環境学部 横浜国立大学理工学部 の大学生

1 進学先（受験大学）を決めた理由・併願先などを教えてください。

- ・将来自分が何になりたいかが重要だと思う。大学でやりたいことを決めてから入学すること。そうすればやりたいことを大学で学ぶのが勉強のモチベーションになる。

2 受験期の過ごし方について

- ・塾は、良い参考書をやれば必ずしも必要ではない。利用するならばオンライン、一斉授業など相性で決めるのがよい。合格の手段（ツール）として利用し、提供するサービスをいかに使いこなすかが大切。
- ・模試は結果分析をやった方がよい。どこで点を落としているのか、とくに大学別の模試は真剣に受けるように。
- ・普段、部活等で忙しい人は学校の授業をよく聞くこと。また（学校の）先生と仲良くなり、分からない所は分かるまで教えてもらう。
- ・6年の選択科目では受験科目はすべて取った。
- ・お勧めの勉強法は、どこでも勉強できるクセをつけること。例えば化学図表を常に持ち歩くなどする。
- ・英単語はシス単を最後までやり通す。

3 志望校・併願校について

- ・志望校については赤本で出願分析をして、対策を立てる。
- ・併願校はセンター利用（共通テスト）で押さえるのがベスト。そうすれば国公立2次の勉強に全力を注げる。どうしても、浪人してでも第1志望校に行きたいなら併願は1校でもよいと思う。

◎電気通信大学情報工学（文書メッセージより抜粋）

受験をひかえる皆さんに、質問への回答と、第一志望校に合格できなかったからこそ分かったことを中心にアドバイスを伝えたいと思います。

まず、成績の伸びについてです。共通テスト（これまでのセンター試験）では、基礎が固まっていれば形式に慣れることで点数が上がります。しかし、二次試験はそう簡単に点数が上がりにくいです。そのため、受験校の模試や過去問を活用し、「〇月までに〇〇点」というように長期目標を短期目標に落とし込んで通年で点数を上げていくことが大切です。

次に、勉強のペースと参考書についてです。理系の皆さんは6年生で新たに学習する内容が多くあります。これらの教科については後から復習する時間がほとんど取れないため、授業で学習した内容はその都度速やかに復習・演習し、試験に臨めるレベルまで引き上げておきましょう。また、適切な参考書は志望校によって変わってきます。大切なのは、一つの参考書について間違えた問題を解けるまで取り組んで定着させることです。ネットや友達、先生から「この参考書が良い」という情報を聞いて参考書を変えたいくなる気持ちはよく分かりますが、自分で選んだ参考書をやり通すことが重要です。

最後に、受験がうまくいかなかったからこそ皆さんにお伝えしたいアドバイスがいくつかあります。

一つ目は、適切な目標設定をすることです。第一志望校の模試では年間を通して判定がDやEで、今思えば実力とかけ離れていたと言わざるを得ません。まずは現在の自分の実力よりも少しレベルの高い大学を目指し、成績が上がったらさらに上のレベルを目指すと思います。

二つ目は、教科ごとの時間配分を定期的に見直すことです。まずは、現時点で構わないので受けようと思っている大学の配点を確認しましょう。その上で現時点での自分の実力を加味し、伸びしろの大きい教科に時間を割くようにすることが重要です。現在の学習時間の配分を記録してみて、適切な配分かどうか定期的に確認・修正しましょう。

三つ目は、学習方法を見直すことです。早い段階で学習の質を高めれば、その影響は非常に大きなものになり

ます。この遠隔授業の期間を利用し、書籍やネットで科学的に根拠のある正しい勉強法を調べて実践すると良いと思います。私が実践した中では、記憶が薄れるタイミングに基づいた「分散学習」により、英単語などの暗記の定着度が劇的に向上したと感じました。

私からのアドバイスは以上です。コロナウイルスの影響で慣れないことが多く大変だと思いますが、自分の目標に向かってがんばって歩み続けてください。心から応援しています。

系統【F】 生物・農学・看護・薬学

東京医科歯科大学医学部 東京農工大学農学部 筑波大学生命環境学群 北里大学薬学部 の大学生

1 受験勉強方法

- ・教科ごと偏りすぎないように万遍なく勉強するのが良い。土日祝は平日よりも集中して勉強する。夏冬休みは1日11時間程度。
- ・スタディサプリを利用。平日は4～5時間。学校で勉強して登下校時の電車でも頑張り、家で寝る前に1～2時間ほど。土日の最長は7時間ほど勉強した。
- ・6年次から始める科目は、授業を受けるタイミングでしっかりと吸収すること。
- ・暗記でないものは、早めに取り組むのが良い。国数英に時間を奪われ、理はテスト直前に詰め込みになってしまった。できれば万遍なく勉強したい。
- ・通年では塾には通わず、夏季冬季の講習のみ(塾に)参加した。学校の授業を頑張った。少し不安だったので、友人に聞いた参考書などを勉強し、先生方にどんどん質問に行った。

2 受験モチベーションの持続方法・おすすめの参考書

- ・メリハリを意識して取り組んだ。睡眠は大事なので、30分以内の仮眠をうまく使った。
- ・「生物 Do ブックス」、大町先生の論述。セミナー生物。駿台文庫の論述。

3 「センター試験(共通テスト)のみ使用の科目」の勉強法

- ・国語：学校の演習授業で消化し、模試の復習、問題集自習で取り組んだ。あとは直前期に単語などを寝る前に覚えた。
- ・漢文&古文：授業内のみで消化するようにした。自習時間で問題集に取り組んだ。
- ・地理&政経：問題集に取り組んだ。教科書で自習。模試の復習、センター過去問を解いた。

◎ 東京海洋大学海洋生命科学部 (文書メッセージより抜粋)

生物の勉強方法について話します。生物は単純な暗記だと思われがちですが、実はそんな事ありません。体内や地球環境で実際に起こっている事なので、全ての働きや反応に流れと意味が存在します。一つ一つの働きや反応を個々で覚えるのは大変ですが、流れとして理解するとすんなり頭に入ってくると思います。生物の問題には実験考察問題に多いように、全く知識がなくても、丁寧に問題文を読んで図や表を読み解けば、解ける問題が少なからずあります。知識のインプットも大事ですが、考察だけで解ける問題を落とさないようにする事を第一に心がけて下さい。

次に数学の勉強方法です。数学に限った話ではないのですが、模試などで間違えた問題は問題番号にマーカーを引き、自分の書き込みを消し、1番下に解答と簡単な解説を書き、ページをちぎってファイリングしました。自分が間違えた問題で問題集ができるのでオススメです。

この先、皆さん夏休みに入り一日中勉強漬けになると思います。僕もその例に漏れず開館から閉館まで塾に通っていたのですが、毎日欠かさずお昼ご飯後に20分お昼寝していました。頭がスッキリするのでオススメです。その他の休憩は、大体2時間ごとに取っていました。休憩時間は特に決めておらず、疲労感より危機感が勝るようになれば勉強を再開しました。休憩に危機感を感じない人は時間を計るのが1番良いと思います。

メインはあくまでも一般受験だったので、小論文の対策は、AO一次試験の2週間ほど前から始めました。小論文は、過去問をまず解くこと。その後は、自分で出題されそうな題材について考え得る限りを紙に書き出し、“これが出題されたらこんな感じで書こう”と全てにおいてアウトラインを決める。面接は、生物の先生を筆頭に色々な先生が模擬面接等でアドバイスをくださいました。模擬面接をしてくれる先生方のアドバイスをよく聞いて臨めば大丈夫です。意外と本番の方が緊張しませんでした。

志望の学部は海洋生命科学部でした。生物に興味があったので、明治大学農学部、立教大学理学部、法政大学生命科学を抑えて受験しました。

3回にわたりお送りしました卒業特集、いかがでしたか。先輩たちの言葉の中の一つでも参考になるものがあれば幸いです。卒業の講師を引き受けてくださった先輩の何名かが、夏休み期間にチューター(学習支援員)として来校してくださる予定です。